

施政方針と予算

令和6年第1回市議会定例会の初日（2月16日）、櫻田市長は施政方針演説を行い、新たな年度に向けた決意とともに、市が今後1年間目指していく方向を示しました。

今号では、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業などを紹介します。



令和6年度 施政方針

私にとって、弘前はかけがえのないふるさとです。そして、同じように市民の皆様一人おひとりにとっても、それぞれの思いが詰まった弘前があるものと考えております。市民の声を丁寧に聴き、市民感覚を大切に、市民一人ひとりが安心して住み続け、この街に暮らして良かったと実感できる弘前をつくり、次の世代に引き継いでいくため、これからも皆様と共に前進してまいりたいと考えております。

「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」

当市の将来都市像には、多くの品種があるりんごのように、弘前の多様な人々や地域、資源が出会い、つながり、他の地域や人々と結びつき、活気や愛着を生み出し、そしてまちを進化、成長させていきたいという思いが込められています。

昨年3月に策定した弘前市総合計画後期基本計画においては、「健康都市弘前の実現」を市政の基軸に据え、様々な施策を展開しております。加えて、「SDGs 未来都市」として先導的な取組を行い、将来も持続可能なまちづくりに向け、積極的に対策を講じていくこととしております。

健康都市弘前、そして、持続可能なまちづくりの実現に向け、「ひとの健康」「まちの健康」「みらいの健康」これを3本の柱に、実績を検証し効果を高めつつ、一過性で終わることなく、あらゆる分野で着実かつ効果的に取組を展開していくとともに、市民や事業者との協働、国や県との連携、特に、圏域市町村との連携についてこれまで以上に強化し、市民の皆様が将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりに全力を注いでまいります。

今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」であります。辰を含む言葉には、「嘉辰令月（かしんれいげつ）」「吉日良辰（きちじつりょうしん）」など縁起の良いものが多く、また、株式相場の世界における格言にも「辰巳天井（たつみてんじょう）」という言葉があり、卯年に跳ね上がった運気が辰年巳年に天井に届くものとされております。

令和の時代となって早々に猛威を振った新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、今もなお直面している物価の高騰などといった、これまでにない変化に影響を受けた近年は、高みを目指す龍が、力を蓄えるため地に潜むとされている「潜龍（せんりゅう）」の時代でありましたが、これからは10年先20年先を見据えながら、その蓄えた力を存分に発揮する時であると考えております。

2年前、市長としての2期目の任期にあたって、「市民の健康を希求する心に応え、健康都市弘前の実現を目指す」ことを申し述べました。そして、卯年である昨年は、「健康都市弘前の実現」を市政の基軸に据えた弘前市総合計画後期基本計画を策定し、様々な施策を展開してまいりました。卯年に掲げ、広がりを見せてきた「健康都市弘前」に対する機運や取組を、市全体として積極的に進めていくため、確乎不拔（かっこふぼつ）の志をもって取組み、この弘前を将来にわたって市民一人ひとりが幸せを感じることでできるまちにし、次の世代にしっかりと繋げてまいる所存であります。

これからも市民目線での市政運営に邁進してまいりますので、市民の皆様におかれましては、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

※「令和6年度施政方針」を要約・抜粋しました。全文については、市ホームページをご覧ください。

令和6年度

主な事業を紹介

令和6年度の主な取り組みを紹介します。

このほかの事業内容は、市ホームページおよび市情報公開コーナー（市役所2階）で見ることができる「令和6年度予算の概要」に掲載しています。

1ひとの健康

すべての市民が健康で長生きできるまちづくり

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、まち全体で健康増進に取り組む「ひとの健康」の実現を目指します。

高齢者補聴器購入費助成事業

新規 予算額 300万円

高齢者の認知症予防のため、65歳以上の軽度・中等度難聴者に対し、補聴器購入費用の一部を助成します。

▼助成額 上限3万円



あと70g野菜を食べよう推進事業

新規 予算額 219万4,000円

野菜をきっかけに、子どもから高齢者まで全ての世代の健康増進や健康意識の向上を図るため、野菜摂取量拡大に向けたセミナーおよび企業向け健康講座の開催や子どもの頃からのしょくいく（植育・食育）などを実施します。



がん患者医療用補正具購入費助成事業

新規 予算額 153万円

がん患者の生活の質の向上や安心して生活できる環境づくりを推進するため、医療用ウィッグおよび胸部補正具の購入費の一部を助成します。

▼助成率 2分の1（上限3万円）

QOL健診普及推進事業

新規 予算額 637万7,000円

ヒロコ健康広場を拠点とした市の運営によるQOL健診（※）を実施します。

また、さらなる普及展開に向け、QOL健診の運営に携わる市民人材を育成するほか、地域・企業への展開としてモデル地区や企業におけるQOL健診を実施します。

（※）QOL健診とは…弘前大学が開発した、独自の測定項目を受診し、その結果説明と健康教育を含めて半日で受けることができる健診。

医療的ケア児保育支援事業

新規 予算額 529万円

医療的ケア児（※）の受け入れを行う保育所等に対し、看護師等医療的ケアに従事する職員の配置などにかかる費用を補助します。



（※）医療的ケア児とは…日常的にたんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする児童のこと。